

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ぼくらの市民活動プロジェクト
事業主体 (連絡先)	ぼくらの市民活動プロジェクト実行委員会 大町市大町 3887 市民活動サポートセンター内
事業区分	(1)地域協働の推進 (8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	746,180円 (うち支援金:535,000円)

事業内容

1 「つながるマルシェ」の開催

令和5年10月14日(土)に大町市文化公園にて開催。出店団体は25団体、発表団体は5団体。来場者は約1,000名、キッチンカー業者等による飲食販売は6店舗。

2 「思わず手にとるチラシづくりカフェ」の開催

令和6年2月17日及び3月9日の全2回をドットベース大町にて開催。参加者は21名。講師はグラフィックデザイナーの富岡史棋氏。参加費は全2回で1,000円。受講内容は1回目にチラシ制作の事例紹介、参加者自己紹介、アイデアスケッチを実施。2回目はチラシ発表会、意見交換、悩み相談、交流タイム、作成ムービー上映。



【つながるマルシェの様子】

【目標・ねらい】

- ①市民団体の活動内容の周知啓発
- ②団体間の連携と活性化
- ③新たな仲間づくりの推進
- ④活動継続のための手法習得

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1 「つながるマルシェ」

約1,000名のお客様が来場され、市民団体の活動内容を広く紹介できた。市内だけでなく大北地域から出店・発表により、広域的な活動の取り組みの周知や団体間の交流の場が創出できた。

2 「思わず手にとるチラシづくりカフェ」

和やかな講座としたことで、6市町村から21名の参加があり、10代から70代の幅広い世代に、市民活動を継続するためのチラシ作成の手法が習得できた。

※自己評価【 A 】

【理由】

マルシェは、R4の参加者400名と比較し600名増加した。講座は、参加者21名で10代から70代の幅広い世代に参加いただきチラシ作成の手法が習得できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「つながるマルシェ」の目的である活動団体同士のつながりをさらに拡大するために、出店・参加の周知を広く行い集客を増やす。新たにスタンプラリーやメッセージボードの設置をすることにより、参加者と市民団体との交流の場を創出するとともに、団体の仲間づくりの一助と活動の活性化を目指す。

講座について、市民団体が課題としている仲間づくりや活動の継続性を学べる講座を実施し、持続的に市民活動に取り組めるよう支援する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある